

総務政策常任委員会 委員会調査報告書

令和5年7月31日(月)に、川崎競馬場及び川崎競馬場小向厩舎において、「予算、県税その他の財務に関する事項について」調査したところ、その概要は別紙のとおりでした。

神奈川県議会議長 加藤元弥様

総務政策常任委員会委員長 田中徳一郎

## 1 調査の概要

- (1) 調査箇所 川崎競馬場及び小向厩舎
- (2) 出席委員 田中徳一郎委員長、谷口かずふみ副委員長、  
ます晴太郎、新堀史明、柳下剛、森正明、松田良昭、  
菅原あきひと、松崎淳、永井真人、近藤大輔、赤野たかし、  
松川正二郎の各委員
- (3) 随行者 安武副主幹（議会局議事課）、柴主幹（政策局総務室）、  
曾根副主幹（総務局総務室）
- (4) 調査日 令和5年7月31日（月）
- (5) 行程 県庁 → 川崎競馬場 → 小向厩舎 → 県庁

## 2 川崎競馬場及び小向厩舎

### (1) 調査目的

本県では、平成12年4月、川崎市と共に一部事務組合である神奈川県川崎競馬組合を設立し、川崎競馬場で競馬事業を実施している。同競馬場はコロナ禍でありながらも近年売上げを伸ばしているが、その一方で小向厩舎は施設の老朽化も進んでいる。そこで、同競馬場の経営状況等、現状及び今後の方針について調査するとともに、小向厩舎の現況を調査することで、当常任委員会の参考に資するものとする。

### (2) 川崎競馬場出席者

川崎競馬組合 業務部長、同総務課長ほか  
山田健司総務局長、三澤普財政部長、橋本伸一資金調査担当課長、宮田一男総務局企画調整担当課長

### (3) 委員長挨拶

### (4) 総務局長挨拶

### (5) 川崎競馬組合（業務部長）挨拶

### (6) 概要説明

以下の内容等について、説明があった。

#### ア 概況

#### イ 競馬事業の概要

(ア) 令和4年度競馬事業の概要

(イ) 令和5年度競馬事業の概要

#### ウ 川崎競馬経営計画（改訂版）

#### エ 地方競馬開催成績

## (7) 質疑応答

質 疑 インターネット投票システムの普及、その影響はすごいと思った。収益配分金を繰り出す平成27年度より前の経営努力、売上向上の努力について教えてほしい。

応 答 経営努力としては、紙の節約、節電等をはじめとして、徹底した経費削減を行った。また、売上向上のため競馬場への入場者を増やすことが当時の方針であり、競馬場でのイベントの開催や地域住民に親しんでもらうお祭りの開催などで競馬場に来てもらうような企画を立てた。

質 疑 インターネットでの売上げが競馬場の利益の中心になっていると聞いた。インターネットでの馬券購入を主とする購買客に、より購買意欲を高める広報、告知の工夫について教えてほしい。

応 答 コロナ禍以降、売上げの中心がインターネットになったために、インターネットを活用した取組を推進しており、特にユーチューブの配信を活用して競馬場のリアルな様子を生中継し、競馬場に足を運ばなくてもパドックの馬の様子やレースが観戦できる環境を整備している。

質 疑 川崎競馬場は全部よみうりランドの所有施設と聞いたが、年間の使用料はいくらくらいか教えてほしい。

応 答 よみうりランドには川崎競馬場の敷地と建物、小向厩舎の敷地と建物を借りている。なお、練習場は河川敷のため国から無償で借りている。使用料は、年間の売得金に4%を掛けた額を毎年よみうりランドに支払っている。

質 疑 J R Aと地方競馬の差別化、ファン層の違いについて教えてほしい。

応 答 J R Aと地方競馬で話し合いをして、J R Aは芝のレースを中心に展開し、地方競馬についてはダートのレースを中心に展開する方針を決めてそれぞれの特色を出せるように取り組んでいる。

また、J R Aは土日の昼間開催が中心で、地方競馬は月曜から金曜日の平日ナイターの開催を中心にしてお客様が重複しないように日程の調整をしている。

質 疑 売得金の繰入れについて、繰入金の金額がどの程度まで上がると予想しているのか教えてほしい。

応 答 売得金の繰入金は令和4年度については県に24億円、市に12億円と2対1の割合で繰り出している。

売得金については組合の収益に当たるが、現在競馬場の施設の整備計画を進めているので、そこへの基金として積み立てていく必要もあるかと考えている。

今後の売得金の状況にもよるが、当面は令和4年度の水準を維持することを目標に、それ以外の部分は施設の整備のほうに充てていきたいと考えている。

質 疑 資料には地域社会との連携・協調の推進とあるが、どのような取組をしているのか、これからどのような取組を考えているのか教えてほしい。

応 答 川崎競馬場は長い歴史を持っているが、地域住民の中には迷惑施設と感じる方もいるため、御迷惑をおかけしている部分については御説明をしながら御協力をお願いしていきたい。

また、競馬場に親しんでもらう取組として、レジャーの一環として施設の無料開放を行うことや、地域の保育園に通う子供たちに遊具で遊んでいただくなどの取組を続けていきたいと考えている。

質 疑 小向厩舎の老朽化について、早急に修繕が必要なのか、修繕費が出せるだけの経営状況なのか教えてほしい。

応 答 売上げに関しては好調である。一方で、小向厩舎については老朽化のほか、水害対策も必要であることから、小向厩舎地区については早急に対応が必要と考えており、現在、競馬組合において、移転も含めて考え方を整理しているところである。

最低限必要な部分については修繕していくが、長期的な更新については、よみうりランドの所有施設であることもあり、全体の状況を踏まえて検討したい。

質 疑 売上げの伸びない時期に競馬場がした経営改善の対策について、詳しく教えてほしい。

応 答 売上げの伸びない時期に関しては、従事員の委託化の推進や離職希望者を募った。また、売上げの向上については、様々なところで協力を得た。その成果もあり、今の売上げの好調さがあると考えている。

質 疑 経営計画の期限まであと2年となった。次の経営計画に向けて何か検

討しているのか教えてほしい。また、現在の経営計画の達成具合をどう評価しているのか教えてほしい。

**応 答** 現計画は令和2年度から令和6年度までであり、来年度中に次期計画の策定を予定している。令和2年度から新型コロナウイルス感染症が流行したため、計画策定時と比べて非常に大きな環境の変化があったが、コロナ禍であっても競馬においては、インターネット投票による売上げの向上があるなど、プラスの側面があった。

今後は、インターネット投票を中心に売上げの向上策を考えていくほか、売得金については、施設の整備や改善に充てていかなければならない。このことが、今後の競馬場の発展につながると考えて、来年度、次期計画の策定を進めていきたい。

**質 疑** 小向厩舎の移転の検討状況についてももう少し詳しく教えてほしい。

**応 答** 令和4年度にコンサルタントに調査を委託し、移転する場合の候補地として市内及び県内を中心に川崎競馬場から120分圏内という条件で移転先候補地を探した。また、今後の収益予想や移転経費についても調査を行った。

今後は、この調査報告を基に組合で検討して、厩舎関係者にも諮りながら、移転の可能性を含め考えていきたい。



## (8) 現地視察（小向厩舎）



## (9) 調査結果

- 川崎競馬場は、売上低迷期に、従事員の委託化や運営経費の削減などの経営改善や様々な売上振興策に取り組み、加えて、コロナ禍において大幅に増加したインターネット投票をメインの売上方法としたことで、現在は売得金過去最高額を達成しているとのことであった。
- 一方で、小向厩舎は施設の老朽化が進んでいるため、厩務員の確保対策や強い馬づくりの面、また、河川敷に立地していることに由来する練習場の冠水対策の面で課題があり、神奈川県川崎競馬組合では、今後の対応について、小向厩舎の移転を含めた検討を行っている状況とのことであった。
- 地方競馬は、売上げを通じて馬の改良増殖その他畜産の振興に寄与するとともに、収益によって地方財政に貢献することを目的に実施されている。
- 神奈川県は構成団体として収益配分金を受け入れていることから、川崎競馬の魅力的な競馬開催による売上拡大を図るための取組や、安定的な競馬を実施するための小向厩舎の状況及び課題に関する検討状況について、現地で調査を実施したことは、今後の同競馬事業等に関する委員会審査を行う上で、参考に資するものとなった。